

- 問1 北海道東部に位置し、広大な土地を活かしてジャガイモ、小麦、てんさい（ビート）、豆類などを大規模に生産している、日本を代表する畑作地帯の名称を選びなさい。（2024年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 十勝平野 | 2. 石狩平野 | 3. 根釧台地 | 4. 庄内平野 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問2 北海道の工業において、食料品工業が製造品出荷額の約3割を占める最大の製造業部門となっている背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 原材料を海外から輸入し、消費地である関東地方に近い港湾部で加工・輸送するのに適しているため | 2. 高度な技術力を持つ労働力が集中しており、自動車や精密機械などの組み立て工場が密集しているため | 3. 広大な土地や豊かな海から得られる農水産資源が豊富であり、原材料の調達が容易であるため | 4. 電力供給が安定しており、大規模な電力を必要とする金属の精錬や基礎化学品の製造に向いているため |
|--|---|---|---|
- 問3 北海道の自然環境と地形について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2021年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 全域において、夏の季節風の影響を強く受けるため、年間を通じて高温多湿な気候となっている | 2. 道北部には、火山灰などが長い年月をかけて降り積もったローム層が堆積する台地が見られる | 3. 道西部には、サンゴ礁が隆起して形成された水はけの良い石灰岩の台地が広がっている | 4. 道東部には、季節風の影響で形成された砂丘が広がり、大規模な施設園芸農業が行われている |
|--|---|--|---|
- 問4 北海道の石狩平野などは、かつて農耕に不向きな土地でしたが、現在では日本有数の稲作地帯となっています。このような発展を可能にした土地改良の背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 海岸沿いの浅瀬に堤防を築いて海水を抜き、塩害に強い新たな耕地を造成した。 | 2. 急傾斜地を階段状に削り、地滑りを防ぎながら標高の高い場所でも耕作を可能にした。 | 3. 火山灰が厚く堆積して水持ちが悪い台地を改良するため、大規模な用水路が建設された。 | 4. 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。 |
|---|--|---|---|
- 問5 世界自然遺産にも登録されている鹿児島県の屋久島では、樹齢1000年を超える屋久杉などの貴重な生態系を維持するため、エコツーリズムの考え方が取り入れられています。この取り組みにおいて、観光地が果たすべき役割として最も適切な説明はどれですか。（2022年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 木道などを整備して観光客が自然を体験できる場を提供しつつ、環境への負荷を最小限に抑える。 | 2. 地域の景観をより華やかにするため、もともとその土地になかった外来種の植物を植えて整備する。 | 3. 大型の宿泊施設や道路を整備し、一度にできるだけ多くの観光客を呼び込むことを最優先する。 | 4. 自然環境を維持するために、観光客の立ち入りを一切禁止し、人の影響を完全に排除する。 |
|---|--|--|--|
- 問6 北海道の日本海沿岸に位置する稚内付近では、5月から6月にかけて月別平均日照時間がピークを迎えます。このような自然環境に関する説明として、誤っているものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 夏季の日照時間が長いのは、寒流である千島海流が宗谷海峡を通して日本海へ流れ込み、雲の発生を抑えるからである。 | 2. この地域が日本の他地域に比べて高緯度にあることは、夏季の昼の時間が長くなる要因となっている。 | 3. 5月から6月にかけて日照時間が長くなるのは、梅雨前線の影響を本州ほど受けにくいことも背景にある。 | 4. 日本海を北上する対馬海流は暖流であり、この地域の気候に影響を与えている。 |
|---|---|---|---|
- 問7 北海道東部の太平洋沿岸地域において、夏の気候に大きな影響を与える「海霧」の要因となる、海流の名称と季節風の向きの組み合わせとして正しいものはどれか。（2024年 石川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------|--------------------|----------------|--------------------|
| 1. 親潮（千島海流）と北東の季節風 | 2. 黒潮（日本海流）と北西の季節風 | 3. 対馬海流と南東の季節風 | 4. 親潮（千島海流）と南東の季節風 |
|--------------------|--------------------|----------------|--------------------|
- 問8 北海道の農畜産業や地域の特徴について説明した文として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 広大な土地を生かした大規模な農業が行われ、小麦の収穫量が多く畑作や畜産業が盛んである。 | 2. 温暖な気候を利用して米の二期作が行われ、輸送用機械器具の出荷額が全国有数である。 | 3. 大都市への輸送に恵まれた近郊農業が中心で、国内航空乗客数は全国で最も少ない。 | 4. 豚の飼育数は全国最多であるが、寒冷な気候のため小麦などの畑作はほとんど行われていない。 |
|--|---|---|--|
- 問9 北海道の東部に位置する根釧台地などの寒冷な地域において、乳牛を飼育して生乳や乳製品を生産する農業を何といいますか。牧草などの飼料生産と組み合わせられていることが特徴です。（2018年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 放牧 | 2. 促成栽培 | 3. 果樹農業 | 4. 酪農 |
|-------|---------|---------|-------|
- 問10 日本最大の面積を持つ地域における産業構造の特徴について、統計資料から読み取れる傾向として適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。（2022年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 日本最大の面積を持つが、寒冷な気候のため水稻栽培は行われず、サービス業などの第3次産業が就業者の大半を占める。 | 2. 製造品出荷額等が約25兆円と極めて高く、第2次産業の就業者割合が第3次産業を大きく上回っている。 | 3. 広大な土地を利用した大規模な水稻栽培などの農業が盛んである一方、第3次産業の就業者割合は約6割強にとどまっている。 | 4. 大規模な土地利用による農業は衰退しており、現在は製造業と観光業のみが地域の主要な産業となっている。 |
|--|---|--|--|
- 問11 1899年に制定された北海道旧土人保護法が廃止され、アイヌの人々の民族としての誇りを尊重し、その伝統や文化の保存・振興を図ることを目的として1997年に施行された法律の名称を答えなさい。（2023年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|-------------|-------------|----------|
| 1. 北海道開発法 | 2. アイヌ文化振興法 | 3. アイヌ民族支援法 | 4. アイヌ新法 |
|-----------|-------------|-------------|----------|
- 問12 北海道の十勝平野などで行われている、同じ土地に異なる種類の作物を数年ごとに順序立てて栽培する「輪作」の目的として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|--|
| 1. 1年間に同じ土地で2種類の作物を栽培し、土地の利用効率を最大限に高めるため。 | 2. 特定の病害虫の発生を抑え、土壌の肥沃さを維持して連作障害を防ぐため。 | 3. 機械化による作業効率を向上させるため、1つの農地で1種類の作物のみを栽培し続けるため | 4. ビニールハウスなどの施設を利用して成長を早め、出荷時期をずらして収益を上げるため。 |
|---|---------------------------------------|---|--|
- 問13 北海道では、サケの稚魚を人工的に育ててから川へ放流する取り組みが盛んに行われています。このような、自然の再生産能力を補い、水産資源を維持・増大させるために行われる「栽培漁業」の仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 卵からかえした稚魚を、自力で生き抜く力がつくまで育ててから放流し、成長後に漁獲する。 | 2. 海岸近くの浅瀬に産卵場所を人工的に作り、自然に卵が孵化して育つのを待ってから漁獲する。 | 3. 海の一部を網などで囲った生け簀（いけす）の中で、稚魚から成魚になるまで餌を与えて育てる。 | 4. 大型の漁船を用いて遠くの公海まで出向き、回遊している魚を網で一度に大量に漁獲する。 |
|---|--|---|--|